

市民のひろば



金ちゃん、車に気をつけて
(日章小で)

「ビヤーツとした体験」を募集

道路はみんなで使うものです。みんなで交通ルールを守って正しい使い方をすれば、事故はおこりません。

「事故防止はルールから」ともいわれています。大人も、子供も交通ルールをよく守りましょう。

教育委員会では、交通安全の一環として、交通安全の標語とビヤーツとした体験談を募集します。ふるって応募してください。

広報掲載の作品には粗品を差しあげます。

▼対象 小・中学校児童生徒、および一般市民

▼しめきり 六月二十五日(月曜日)

▼おくり先 南国市大浦甲二三〇 南国市教育委員会

▼投稿の作品は返却しません。

▼標語は南国市の交通安全標語に使用させていただきます。

公民館の教室生募集

失われゆく人間性をとりもどし生きるよるごびを求める教室生を募ります。自分の施設として、だれでも自由に参加して、教養といこの場にご利用ください。

会費は無料ですが教材を使う時は実費をいただきます。

▼茶道サークル・毎週日曜日十時～十二時 講師、松本末亀、嶋本宗幸

▼俳句サークル・第二日曜日、十三時～十七時 公文東梨

▼詩吟サークル・第三日曜日、十四時～十七時 野中秀峰

▼きもの着付教室・第一日曜日 十四時～十六時 谷口靖子

▼きもの着付教室は、男性教室もあります。きものは家庭にあるもので間にあいます。

老人医療費受給者証の更新を

老人医療費支給制度によって医療費の支給を受けている人は、毎年五月一日から五月三十一日までの間に「老人医療費受給者証更新申請書」を提出し、老人医療費受給者証の更新交付を受けることになります。

この老人医療費受給者証の更新申請とは、老人医療費の支給を受けている本人、その人の配偶者または扶養義務者の昭和四十七年中の所得状況などを届け出るもので、これによって、今年の七月一日から来年の六月三十日までの一年間、老人医療費支給制度の適用を受けることができるかどうかを決める大切な申請です。

もしこの申請を提出されない場合は、七月から所得制限の限度額が引き上げられますが、特に配偶者または扶養義務者の限度額については、扶養親族五人の場合に従来二百五十万円であったものが六百万円へと大幅に引き上げられることになっています。したがって、いままでも所得が多いということと老人医療費受給者証の交付を受けることができなかつた人でも受けられるようになる場合がありますので、くわしいことは市民課給付係でご相談ください。

短歌

土佐日記紀貫之の舟のあとみはるかす我が清風園ゆ
朝涼し夕べはたのし不具となりかかろ尊き晩年がありき
見たりしは我のみならむおほなる有明の月たまゆら消えし
すき去りし波瀾万丈の生涯も蛙とびこむ音の如し
諸行無常不増不減の水温み柳はみどり花はくれなる

清風園 依光亦義

親子クイズ②

あなたもクイズをあててみませんか。答えは今月号の広報にでています。

◆もんだい

①広報では原稿を募集しています。しめきりは毎月10日と〇〇日です。

②三代青年のバスの参加者を募集しています。対象者は明治、〇〇昭和生まれの人です。

③母子家庭の中学卒業者は今年、〇〇人でした。

◆しめきり 5月31日 (木)

◆おくり先 南国市大浦 南国市役所内 広報委員会、親子クイズ係あて 〒783

◆しょう品 特賞 2,000円 1名
残念賞、記念品 10名

☆特賞に、横田知佳さん(東崎) 第19回の正解

※こたえ①36、②2、③2

応募された枚数は76枚。このうち正しいものは69枚。

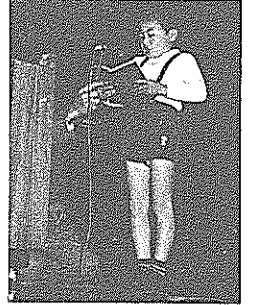
※特賞 横田知佳(東崎) 残念賞、記念品、加藤李恵(明見) 吉田純子(立田) 坂野志津(片山) 窪添邦夫(植野) 森尾リエ(十市) 岡崎正(植田) 橋田美代子(前浜) 吉田修之(立田) 常徳孝司(下島) 松木理恵(片山)

トピックス

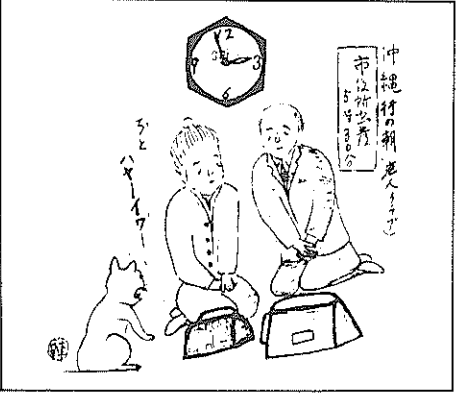
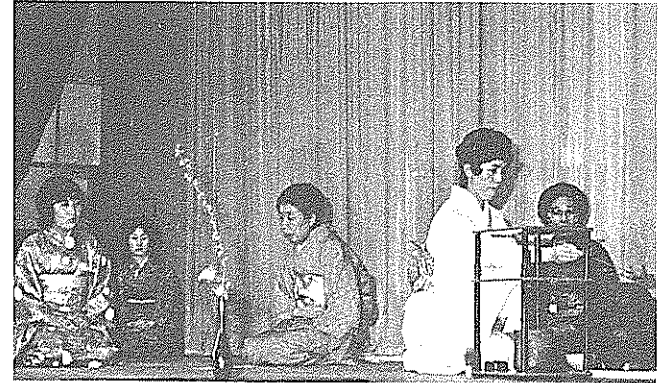
◆“川を美しく”朝日町自警団の立札も、チリ、アクタにまじって大声をはりあげている。



◆高知空港整備計画として保安施設整備など3億9,100万円の予算がつき、県は3月27日、日章公民館で説明会を開き協力要請。地元民は農業への圧迫、騒音公害などで反対。平行線のまま終了



◆詩吟、茶道、謡曲、書道、盆栽の各教室生の合同発表会。チビ子もまじって大ハッスル。一年間に学んだものを胸をはって、市民に披ろうしていた。



◆沖縄行の朝 北村晴重(陣山) (3月11日～16日、老人クラブ員160人が沖縄への研修旅行へ)

春たけなわ

戦前の春季皇霊祭は、彼岸会を中心とした園の祭日であったが、新しい国民の祝日では、春分の日となつて、万物の生成発展を祝う日となつた。この季節にびつたりした意気つけであると思う。

ふきのとうに、よみがえる春をよるこんだのも東の園、梅、桃、ぼけなど早春の花が次々と咲く。しゃやくやくの赤い芽や、ふたりしずかの小さな芽が出る。また時々霜のおりる頃、まゆみの新芽が出る。霜にいたみはしないかと案じていたが、平気で伸びた。すおう、もくれん、かいどう

れんぎょう、しゃがなど、簍のよなわが家の庭に、これらの花が咲きつづけているうちに、桜が咲いて、散って、春はいよいよ深くなっていく。

それぞれの色に萌え出た若芽が、一様に濃い青葉になつた頃、人々はやっとおちつきを取りもどすと言った人があつたが、あつたらしい春の足音のせいでもあるまいが、人間世界でも実に多忙な季節である。春宵一刻値千金、花を惜しんで朝は早くおき、月をながめて夜はおそくねる。古人はこの様に月や花をめでたのに今の人はその美しさを惜しむ心がないと、益

原稿募集

◆市民の声Ⅱ行政に対する建設的な意見(八百字以内)▼つくしⅡ女性のほのぼのとした随想(六百字以内)▼課長対話Ⅱ行政事務の質問

☑しめきり・毎月十日と二十五日 ☑採用の分には、賞金または記念品を送ります。